

## Japan Geoscience Union Meeting 2010

(May 23-28 2010 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2009. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



PPS007-01

会場: 301A

時間: 5月26日13:45-14:00

### 将来の小天体探査に向けた構想と戦略

#### Strategy of small objects mission to understand origin of solar system

舩本 尚義<sup>1\*</sup>

Hisayoshi Yurimoto<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>北海道大学

<sup>1</sup>Hokkaido Univ.

本年6月に、はやぶさが小惑星イトカワの試料を地球に帰還する。また、はやぶさ2ミッションも着実に進行しつつある。将来の小惑星探査の目的は、太陽系の起源の解明である。具体的には星間空間から小天体ができるまでの物理的・化学的過程の総合的な解析である。この段階において、進化を支配している現象には、力学や熱力学以外の法則により主に支配される現象が多々あったと考えられているがその大部分の理解は十分進んでいない。そのため、太陽系の形成が宇宙においてどの程度の普遍性を持つかという問に対して我々は十分な回答を与えることができない。将来の小惑星探査ではこれらの点に関して回答を与え、その発展過程を総合的に理解することが求められる。その方法としての柱は、サンプルリターン・その場観測・宇宙実験であると考えられる。もう一つの柱は探査天体選択のための物差の構築である。この物差の構築のために、はやぶさ・はやぶさ2の成果を活用しなければならない。本セッションでは以上についての戦略を議論したい。